



たくましく心豊かで  
すすんで学びあう  
八幡っ子の育成

# やはたっ子!!



発行  
令和7年12月1日  
八幡小学校長



## 何から学ぶ？ いつ学ぶ？

先日、須磨寺の小池陽人さんのお話を聞きました。その中で、陽人さんが、四国お遍路の旅に出かけた時のお話。無人のバス停で、野宿している男性に出会います。男性は、20年間この生活を続けている、修験者だという。人助けをしているのだと。『こんな姿で野宿してたら通る親子が言う』『親は子に、ああなりたくなったら勉強しいやと言ひ、子は、ああはなりたくないと思って、一生懸命勉強する、人助けじゅ』と。なるほど、野宿するだけで人助けできるんだと小池さんは思ったそう。そして『お遍路さんもそうじゅ、歩いてるだけで人助けじゅ、全部シンプルに考えないかん』『兄ちゃん、これだけは覚えとき、生きてるだけで十分や、シンプルじゅろ』と。旅で疲れていた陽人さんの心に強く響いた言葉だったとおっしゃっていました。

もう一つ。中国・前漢時代の皇族、劉安が編さんした『淮南子』という古典の一節として紹介されている言葉。『忙しくて勉強する時間がない』と言うなけれ。『勉強する時間がないと言う人は、たとえあったとしても勉強などしないものだ』と。二千年余りの時を経た現代人の胸にも、突き刺さる。と、ある新聞社説にありました。

「何から学ぶ？いつ学ぶ？」の答えは、人それぞれかも知れません。しかし、先人の話や言葉を聞いていると、何からでも、そして、いつでも学ぶこと。子どもも大人も、学び続けることが大切なんだとつくづく思うのです。

## 根が整えば枝も整う(活躍を支えたトレーナーの言葉)

WSで大活躍した山本由伸投手。その裏には常に矢田修トレーナーの存在があったといいます。「1軍で5回投げてパンパンだったところから、翌日でも投げられるようにならないとダメだと、矢田トレーナーに言われながら、そういうところを目指してやってきた。矢田修という男がどれだけすごいかを証明できた。」と山本投手が語る言葉には、矢田氏の理論を信じて二人三脚で地道に取り組み続けてきた信念や努力が伺えます。

最小限の力で遠くまで投げられる体の使い方のみならず、「根が整えば枝も整う」の言葉通り、動作の根本である「立ち方」から整える指導は、「新しい身体観」や「動作革命」とも言われ、メジャーリーグでも注目されているようです。



全校朝会



音楽会児童鑑賞日



### ～行事予定～

7日（日）加古川市 明日をひらく人権のつどい

8日（月）6年生職業人と語ろう 10日（水）クラブ活動

12日（金）山手中校区育成協議会

16日（火）短縮4校時・懇談会（～19日）

希望制

19日（金）給食終了 22日（月）地区児童会

23日（火）2学期終業式

24日（水）冬季休業日（～1/6）



八幡小の日の出 と うろこ雲

29日（月）年末年始の休日（～1/3）

※12月27日（土）～1月4日（日）の間は、学校施設は使用できません。

